

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月2日
東

上場会社名 田中建設工業株式会社 上場取引所
コード番号 1450 URL <https://www.tanaken-1982.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 中尾 安志
問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 内田 政美 (TEL) 03(6264)5095
管理本部長
四半期報告書提出予定日 2023年8月2日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,285	△11.2	303	△33.2	319	△30.6	188	△34.2
2023年3月期第1四半期	2,574	0.9	454	43.3	460	43.4	286	42.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	43.33	—
2023年3月期第1四半期	65.84	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	8,146	6,079	74.6
2023年3月期	8,017	6,217	77.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 6,079百万円 2023年3月期 6,217百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2024年3月期	—				
2024年3月期(予想)		0.00	—	73.00	73.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	6.7	1,385	△11.2	1,400	△12.5	945	△13.0	217.41

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、第2四半期(累計)の業績予想は行っていません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期1Q	4,349,800株	2023年3月期	4,349,800株
2024年3月期1Q	349株	2023年3月期	313株
2024年3月期1Q	4,349,451株	2023年3月期1Q	4,349,487株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間末におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せたものの、ウクライナ情勢を主因としたエネルギー・資材等の価格上昇の影響により、先行き不透明な状況が続くと思われま

す。当社が属する建設業界におきましては、建築受注が回復傾向にあるものの、建築資材価格の高騰や建設技能労働者の需給の逼迫によりコスト面で不安の残る状況にあります。一方、解体工事におきましては、高度経済成長時代に建築され、老朽化した建物の増加、市街地再開発、マンション建替えの活発化を背景に、引き続き堅調な受注環境が続いております。

このような中、当社は、創業40周年及び中期計画2期前倒し達成を機に、更なる飛躍を展望した長期ビジョン「TANAKEN “Vision NEXT 10”」にて10年後のあるべき姿を明確にしました。その実現に向け、中期経営計画「TANAKEN “Vision NEXT 10” Primary Phase」を策定しました。「Primary Phase」は、成長軌道を維持しながら更なる飛躍を遂げるための「基盤構築の3ヵ年計画」になります。

2024年3月期は、本社移転による就労環境の改善をベースに、競争力の源泉である人財、技術、アライアンスの拡充に注力し、「TANAKEN」ブランドの価値向上を目指してまいります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は2,285,994千円（前事業年度比11.2%減）、営業利益は303,751千円（同33.2%減）、経常利益は319,607千円（同30.6%減）、四半期純利益は188,441千円（同34.2%減）となりました。堅調な受注環境を背景に受注残高は潤沢なもの、大型案件の着工が同期間比において減少したため、売上・利益共に同期間比マイナスの結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べて15,710千円増加し、6,705,024千円になりました。主な要因は、完成工事未収入金の増加582,083千円、電子記録債権の増加456,866千円、前払費用の増加8,599千円及び未成工事支出金の増加8,358千円が生じた一方で、現金及び預金の減少928,069千円、受取手形の減少43,613千円及びその他の減少68,513千円が生じたことによるものです。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末に比べて113,245千円増加し、1,441,815千円になりました。主な要因は、建物の増加70,267千円、工具、器具及び備品の増加44,234千円、投資有価証券の増加33,482千円が生じた一方で、建設仮勘定の減少29,000千円、繰延税金資産の減少3,916千円及びソフトウェアの減少2,079千円が生じたことによるものです。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べて261,545千円増加し、1,984,278千円になりました。主な要因は、短期借入金の増加400,000千円、預り金の増加26,930千円、工事損失引当金の増加21,385千円、賞与引当金の増加14,087千円及びその他の増加31,407千円が生じた一方で、未払法人税等の減少165,014千円、未成工事受入金の減少42,240千円、未払消費税等の減少17,235千円及び工事未払金の減少11,205千円が生じたことによるものです。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末に比べて5,360千円増加し、83,379千円になりました。主な要因は、役員退職慰労引当金の増加3,513千円及び退職給付引当金の増加1,846千円が生じたことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べて137,949千円減少し、6,079,180千円になりました。主な要因は、利益剰余金の減少159,514千円並びにその他有価証券評価差額金の増加21,565千円が生じたことによるものです。なお、利益剰余金の減少159,514千円は、四半期純利益の計上による増加188,441千円並びに配当金の支払による減少347,956千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月12日付で公表しました当期の業績予想から変更ありません。

なお、上記に記載した業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,282,363	1,354,294
受取手形	43,613	—
電子記録債権	244,474	701,340
完成工事未収入金	3,779,629	4,361,713
未成工事支出金	32,757	41,115
前払費用	37,621	46,220
その他	268,853	200,340
流動資産合計	6,689,313	6,705,024
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	286,080	356,348
構築物（純額）	3,864	3,747
車両運搬具（純額）	3,370	3,086
工具、器具及び備品（純額）	22,624	66,858
土地	595,054	595,054
建設仮勘定	29,000	—
有形固定資産合計	939,994	1,025,095
無形固定資産		
ソフトウェア	36,188	34,109
ソフトウェア仮勘定	360	360
その他	434	434
無形固定資産合計	36,983	34,903
投資その他の資産		
投資有価証券	201,132	234,614
繰延税金資産	31,470	27,554
その他	120,638	121,297
貸倒引当金	△1,650	△1,650
投資その他の資産合計	351,591	381,816
固定資産合計	1,328,569	1,441,815
資産合計	8,017,883	8,146,839

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	1,137,697	1,126,492
短期借入金	—	400,000
未払費用	58,801	62,231
未払法人税等	298,472	133,458
未払消費税等	65,812	48,576
未成工事受入金	42,955	715
預り金	24,259	51,190
賞与引当金	26,728	40,815
工事損失引当金	—	21,385
その他	68,005	99,412
流動負債合計	1,722,733	1,984,278
固定負債		
退職給付引当金	36,077	37,923
役員退職慰労引当金	35,555	39,069
その他	6,387	6,387
固定負債合計	78,019	83,379
負債合計	1,800,752	2,067,658
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,156	297,156
資本剰余金	249,156	249,156
利益剰余金	5,620,748	5,461,233
自己株式	△687	△687
株主資本合計	6,166,372	6,006,858
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	50,757	72,322
評価・換算差額等合計	50,757	72,322
純資産合計	6,217,130	6,079,180
負債純資産合計	8,017,883	8,146,839

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,574,021	2,285,994
売上原価	1,903,276	1,758,017
売上総利益	670,744	527,977
販売費及び一般管理費	216,193	224,226
営業利益	454,551	303,751
営業外収益		
受取補償金	—	12,193
受取利息及び配当金	2,071	1,840
受取賃貸料	3,557	3,557
その他	466	1,019
営業外収益合計	6,094	18,609
営業外費用		
支払利息	—	26
賃貸収入原価	251	256
支払補償費	—	2,470
営業外費用合計	251	2,753
経常利益	460,394	319,607
特別損失		
固定資産除却損	—	211
特別損失合計	—	211
税引前四半期純利益	460,394	319,395
法人税、住民税及び事業税	167,558	136,556
法人税等調整額	6,481	△5,601
法人税等合計	174,040	130,954
四半期純利益	286,353	188,441

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。